

日本心理学会第83回大会公募シンポジウム (SS-014)

共感性の基盤, 性質, 実装——進化×心理×人工知能——

11 Sep. 2019, 13:20-15:20@立命館大学大阪いばらきキャンパスAN212

1

Dark Triadのリスクテイキング行動

喜入 暁 (大阪経済法科大学)

1. 問題と目的

- 共感性の欠如によるアウトカム
 - 他者の迷惑を顧みない自己中心的な行動
- 本研究での着目点
 - → Dark Triad^{1, 2}
 - 共感性欠如を特徴とする^{1, 3}
 - → リスクテイキング行動
 - 自分の身体・精神的健康を損ねる可能性
 - 他者を巻き込んで迷惑をかける可能性

¹Furnham et al., 2013; ²Paulhus & Williams, 2002; ³Paulhus, 2014

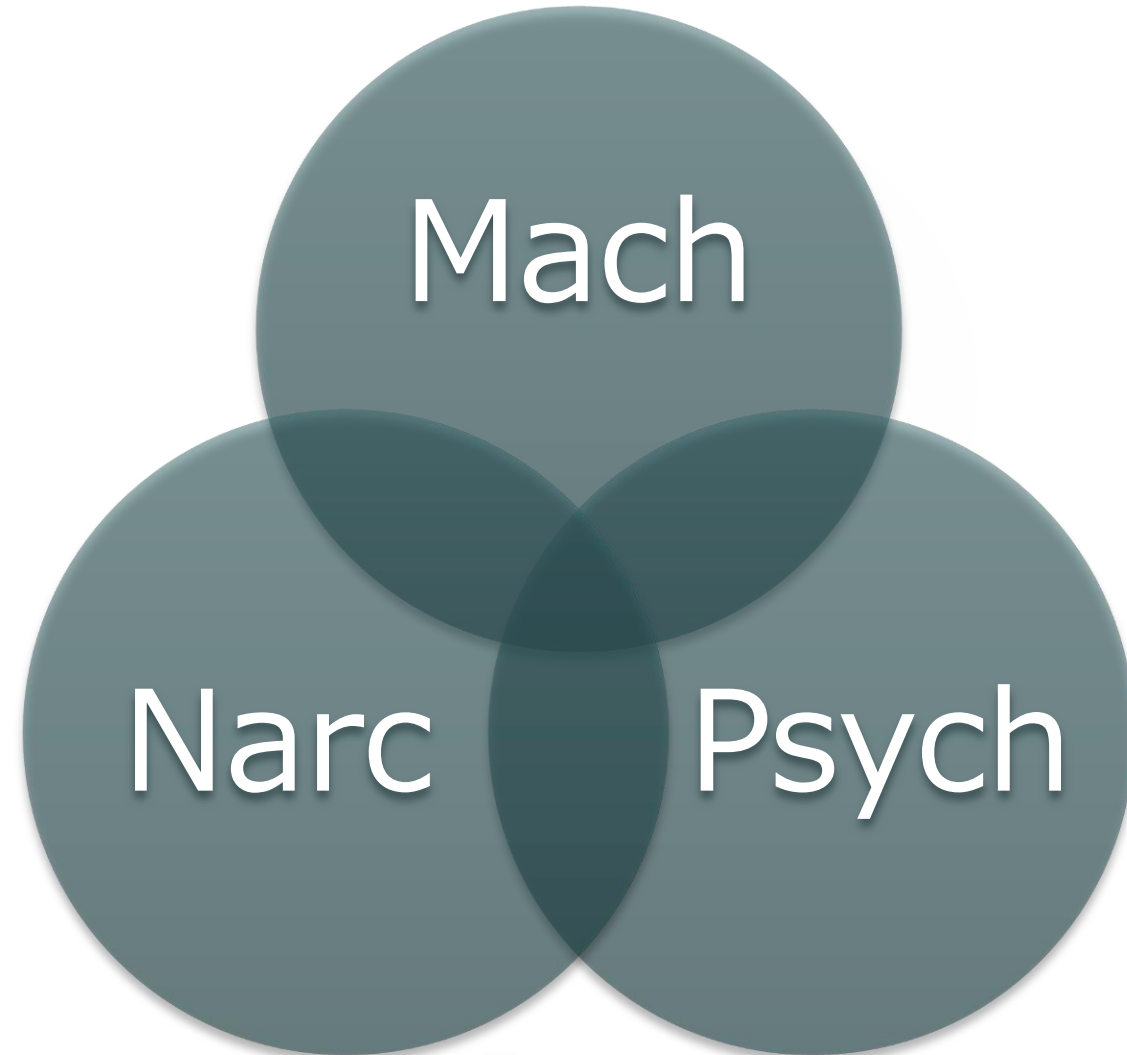
1. 問題と目的: リスクテイキング行動

- 自己・他者にネガティブな影響を及ぼすリスクテイキング⁴に着目する。
 - 社会的リスクテイキング
 - 約束を破ること→他者を巻き込んだリスク
 - 個人的リスクテイキング
 - 飲み会などでイッキ飲みをすること→主に自身へのリスク

Q. 共感性の欠如を特徴とするパーソナリティ（Dark Triad）はこれらのリスク行動とどのように関連するか？

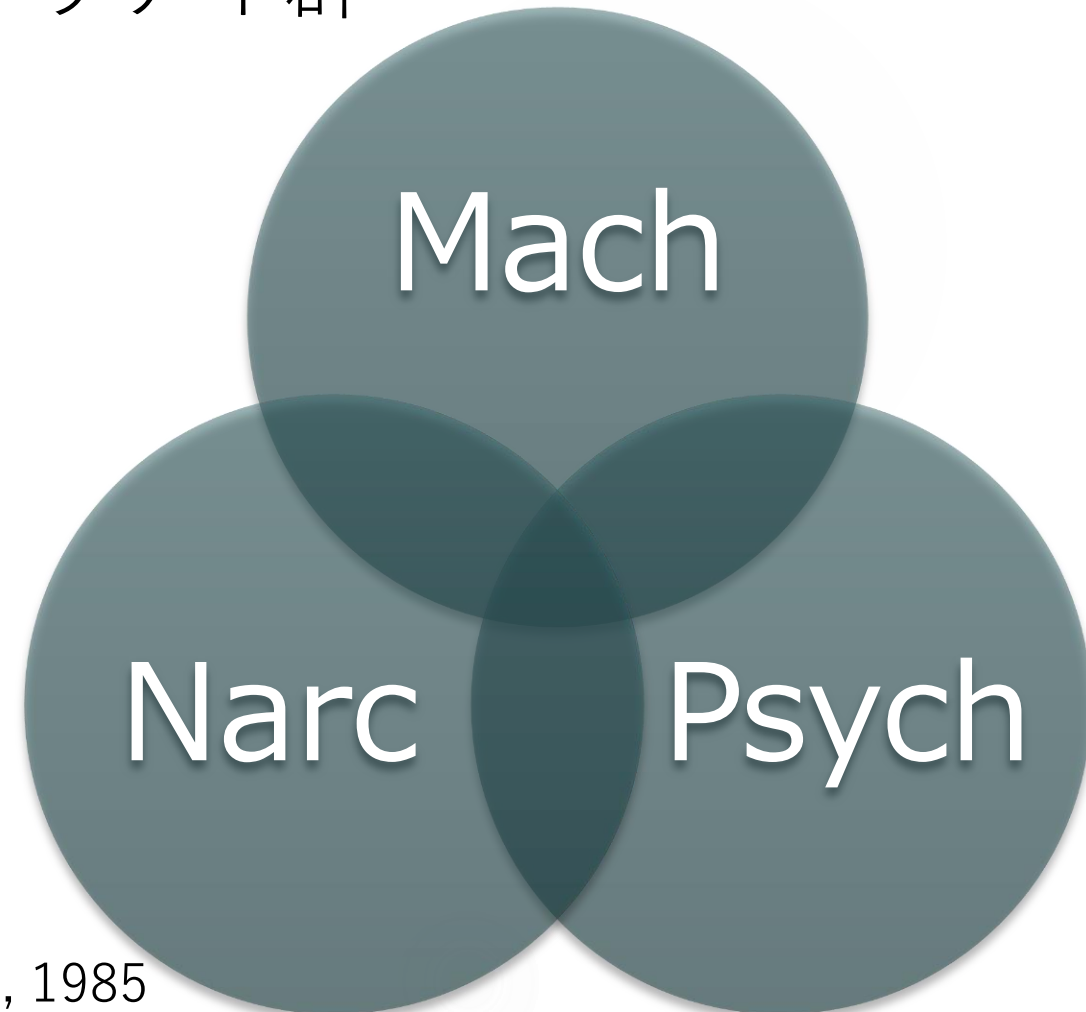
1. 問題と目的: Dark Triad

- 共感性の欠如を特徴とするパーソナリティ群
- Dark Triad
 - マキャベリアニズム, ナルシシズム, サイコパシーで構成される, 社会的悪意特性
 - 共感性の欠如, 他者操作性を核とする
 - ⇔ 各側面に特有の傾向もある



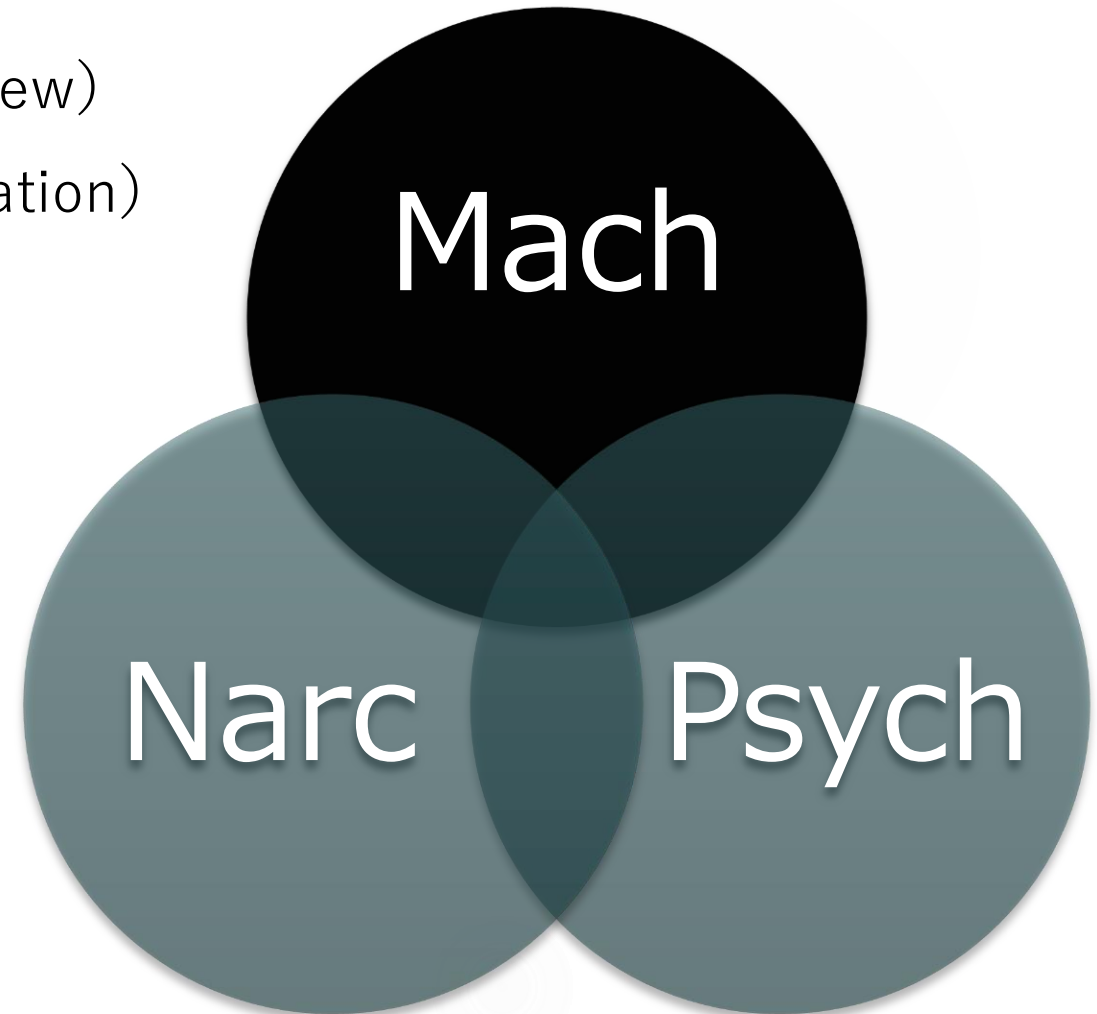
1. 問題と目的: Dark Triad

- 社会的に望ましくない3パーソナリティ群
 - マキャベリアニズム⁵
 - ナルシシズム⁶
 - サイコパシー⁷
- それぞれに共通要素
 - 共感性の欠如
 - 他者操作的
 - 自己中心性



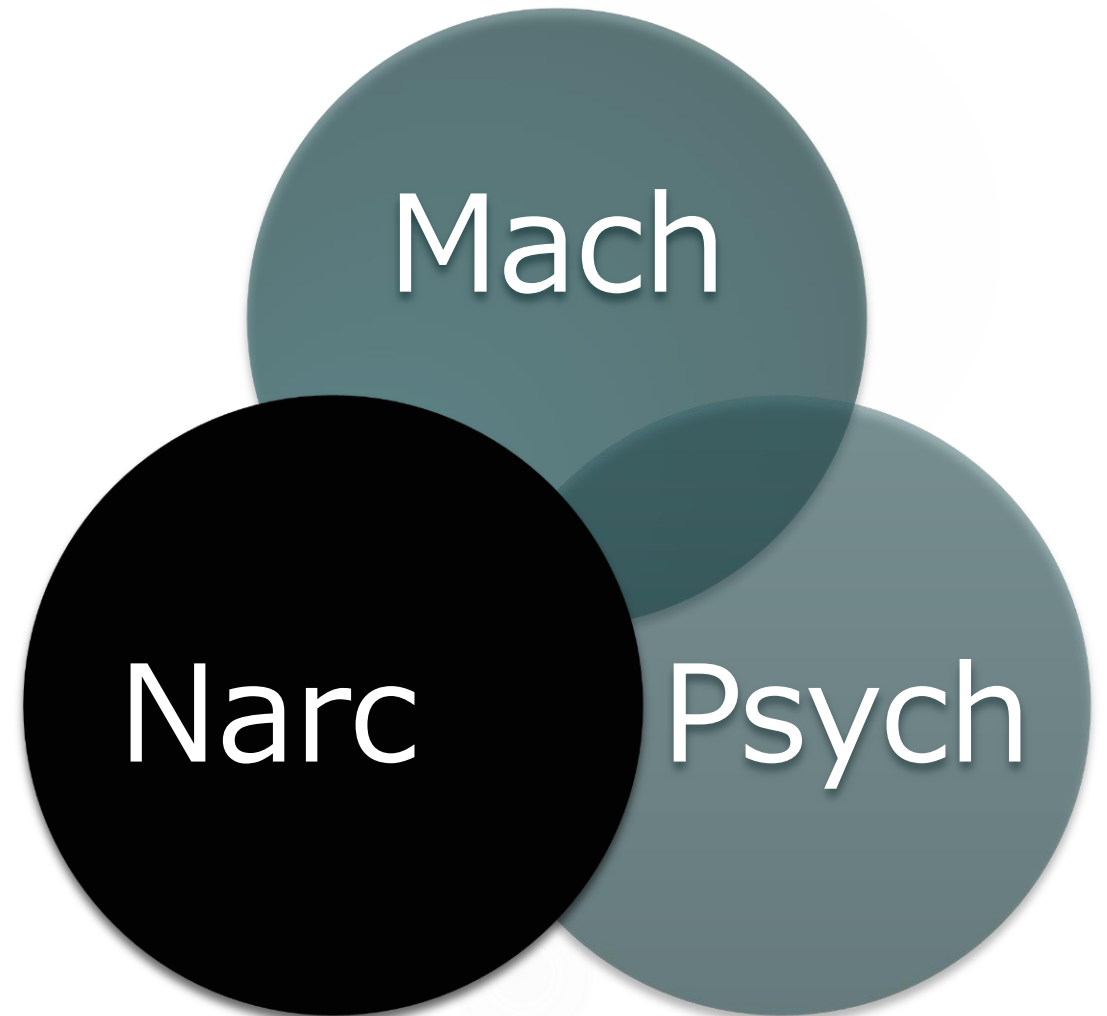
1. 問題と目的: Dark Triad

- マキャベリアニズム
 - シニカルな世界観 (cynical worldview)
 - 戦術的対人操作性 (tactic manipulation)
 - モラルの軽視
- 直感的には,
 - 合理的思考
 - そのために他者がどうなっても知ったこっちゃない



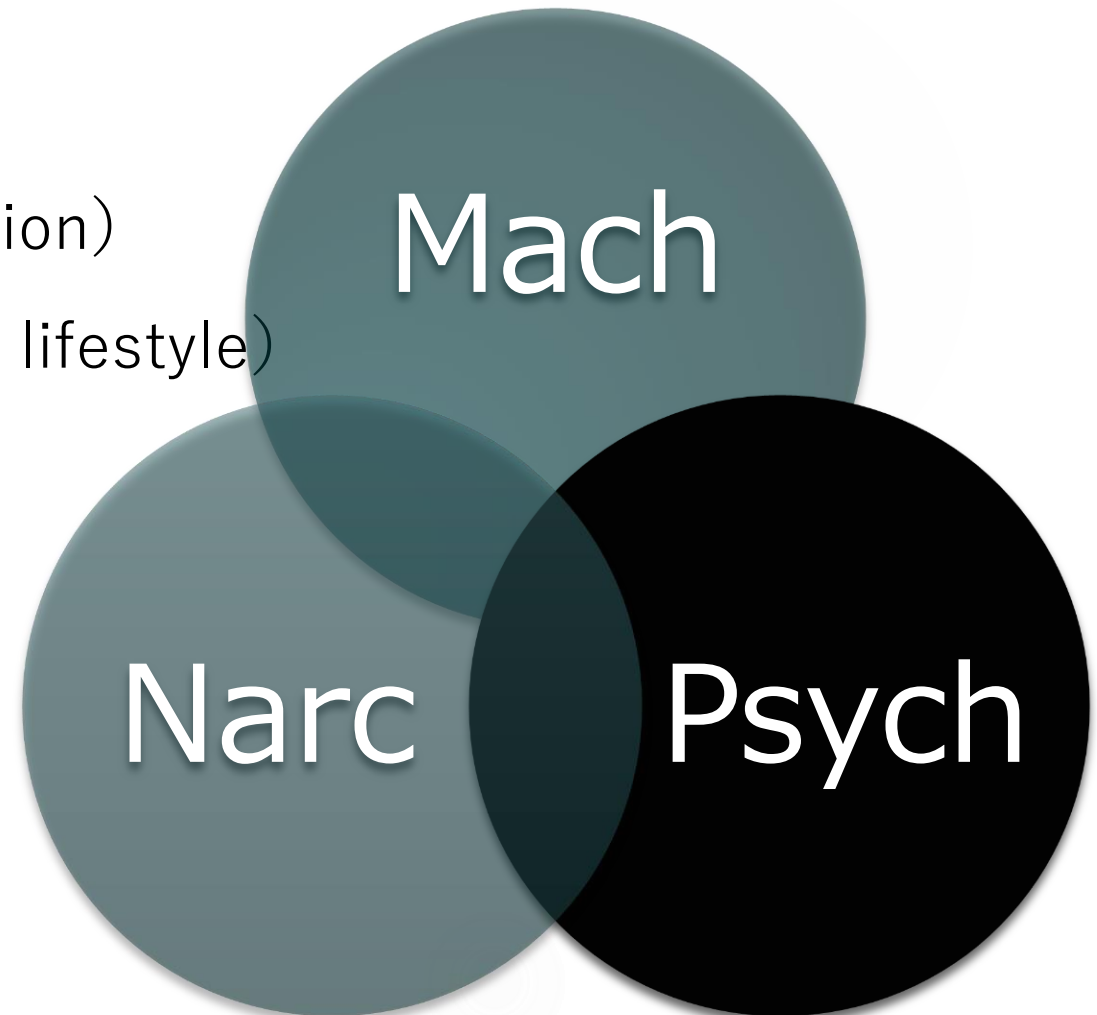
1. 問題と目的: Dark Triad

- ナルシシズム
 - 誇大感 (grandiose)
 - 特権意識 (entitlement)
 - 優越性 (dominance)
 - 自己顕示 (self-presentation)
- 直感的には,
 - 他者によく思われるために他者をダシにする



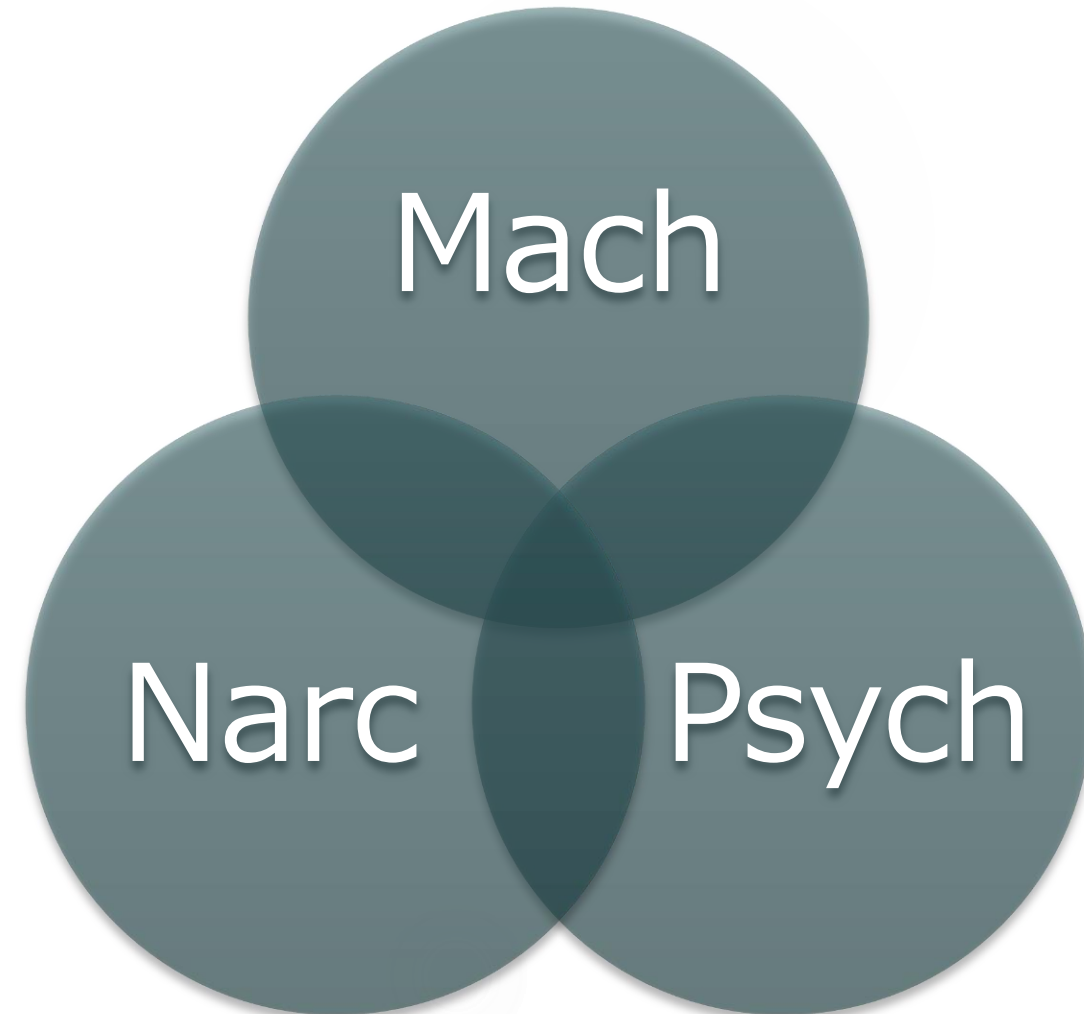
1. 問題と目的: Dark Triad

- サイコパシー
 - 冷淡な感情 (callous affect)
 - 対人操作 (interpersonal manipulation)
 - 不安定ライフスタイル (erratic lifestyle)
 - 反社会行動 (antisocial behavior)
- 直感的には,
 - えーい, やっちなえー



1. 問題と目的: Dark Triad

- 共通点
 - 共感性の欠如
 - 他者操作的
 - 自己中心性
- 相違点
 - 計画性（マキャベリアニズム）
 - 対人関係重視（ナルシシズム）
 - 衝動性（サイコパシー）



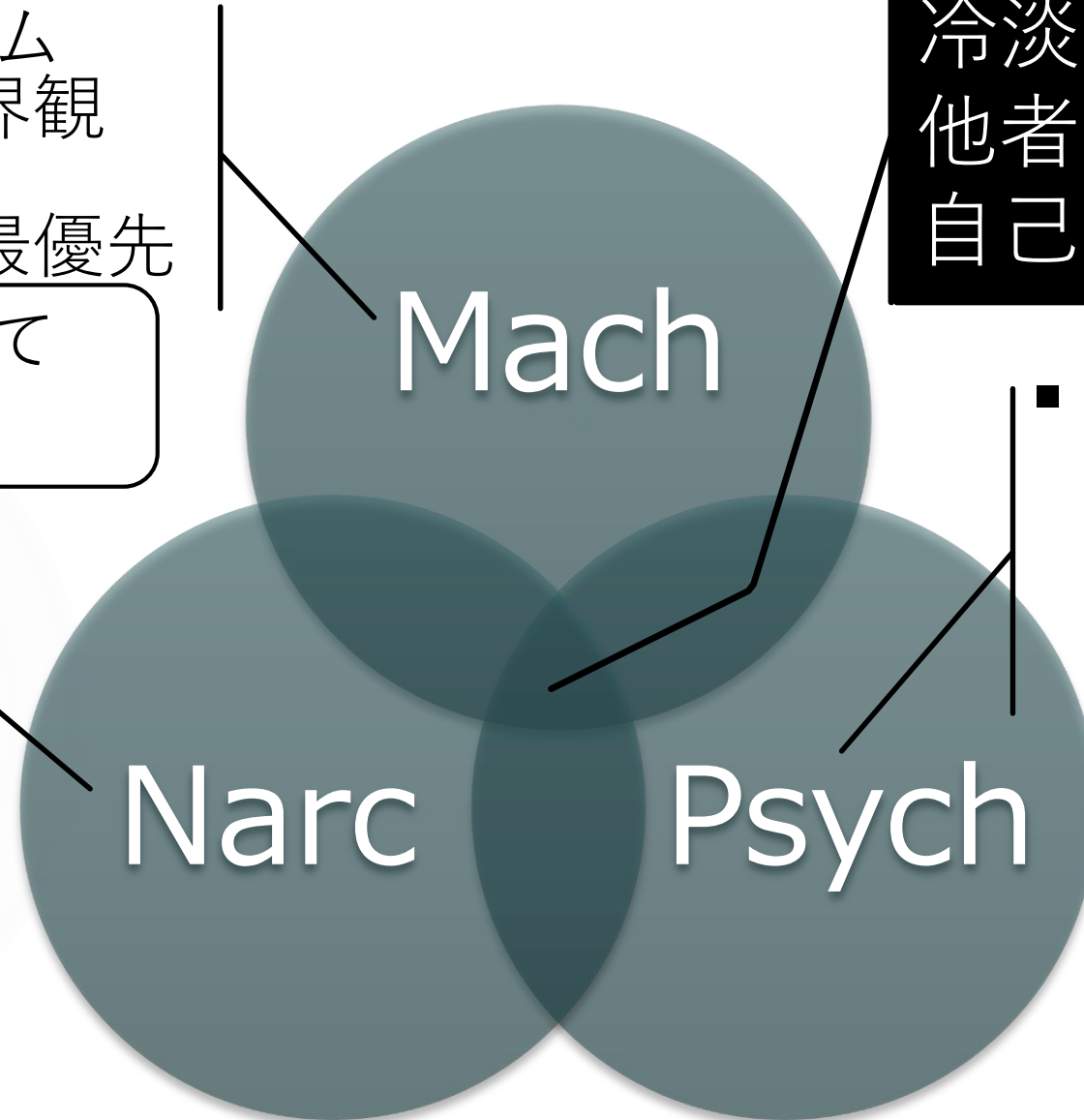
1. 問題と目的: Dark Triad

- マキャベリアニズム
 - シニカルな世界観
 - 道徳性の軽視
 - 自身の利益を最優先

他人がどうなっても
もしーらない

- ナルシシズム
 - 誇大性
 - 自己顕示性
 - 称賛欲求

他者は自分をよく
見せるための
ダシ



冷淡さ
他者操作性
自己中心性

*Dark
Core*

- サイコパシー
 - 共感性の欠如
 - 対人操作性
 - 不安定な生活様式
 - 反社会行動

どうにでも
なーれ

1. 問題と目的: Dark Triad

- 各Dark Triadは理論的には弁別可能
- 実際には、マキャベリアニズムとサイコパシーが弁別できないという問題⁸
 - 測定ツールは同一の何かを測定している可能性⁹
 - マキャベリアニズムの特有の効果が見られないことが多々ある

Q. リスクテイキング行動との関連で弁別可能か？

⁸Vize et al., 2018; ⁹Miller et al., 2016

1. 問題と目的: 問い

■ 本研究の問い1

- 各Dark Triadはリスク行動と関連するか？
 - → それぞれ関連を示すと考えられる。

■ 本研究の問い2

- 各Dark Triadはリスク行動との関連によって弁別可能か？
 - 特に、マキャベリアニズムとサイコパシー
 - → 理論的観点から弁別可能であると考えられる。

1. 問題と目的: 仮説

■ マキャベリアニズム

– H: **社会的リスク行動**とのみ正の関連

– 他者をないがしろにすることをいとわない

– 自分自身のリスクを高める行動は積極的にはとらない

■ ナルシシズム

– H: **個人的リスク行動**とのみ正の関連

– 新奇な刺激を求める一方，社会的関わりを軽視しない

■ サイコパシー

– H: **個人的・社会的リスク行動**いずれとも正の関連

– 他者・自分の将来的な展望を持たない

2. 方法

■ 参加者

- 大学生207名（女性181），平均20.2歳，SD = 1.43

■ 測定

- Short Dark Triad日本語版¹⁰

- 他の誰かに自分の秘密を教えないということは賢明なことだ（マキャベリアニズム）
- 周りの人は私を生まれながらのリーダーだと思っている（ナルシシズム）
- 報復は，即座に，冷酷に行うものだ（サイコパシー）

- 大学生用リスクテイキング行動尺度⁴

- 授業や待ち合わせに遅刻すること（社会的リスク行動）
- 飲酒運転をすること（個人的リスク行動）

¹⁰下司・小塩, 2017

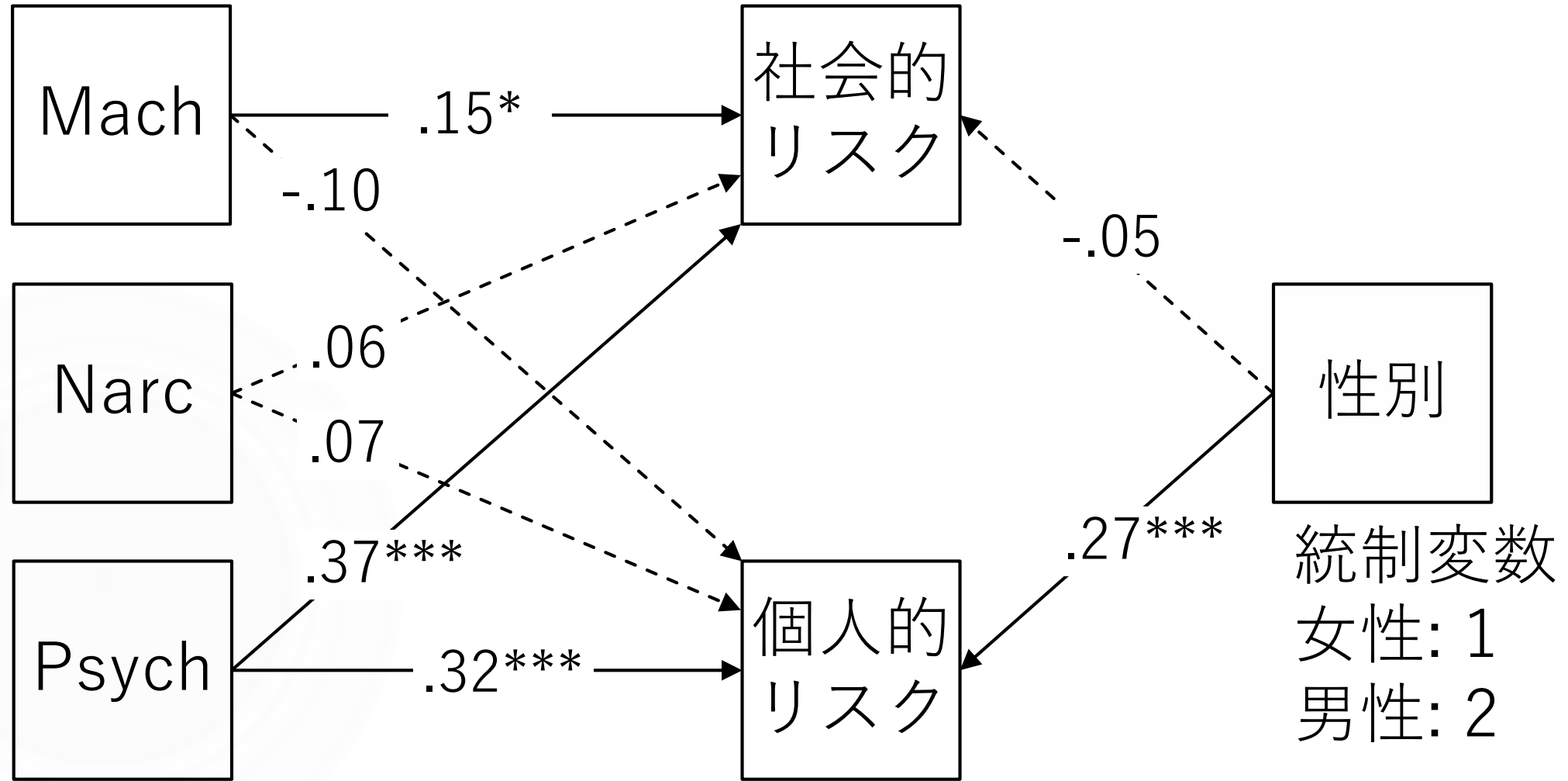
3. 結果: ゼロ次相関

- 相関係数

	マキャベリアニズム	ナルシシズム	サイコパシー
社会的リスク行動	.30**	.21**	.45**
個人的リスク行動	.10 <i>ns</i>	.17*	.32**

- → 共通要素を統制しても関連は維持されるか？

3. 結果: パス解析



※共分散は省略，実線は有意なパス，* $p < .05$ ，*** $p < .001$

3. 結果: 仮説との整合性

- マキャベリアニズム

- H: **社会的リスク行動**とのみ正の関連 → **支持**

- 他者をないがしろにすることをいとわない

- 自分自身のリスクを高める行動は積極的にはとらない

- ナルシシズム

- H: **個人的リスク行動**とのみ正の関連 → **不支持**

- 新奇な刺激を求める一方, 社会的関わりを軽視しない

- サイコパシー

- H: **個人的・社会的リスク行動**いずれとも正の関連 → **支持**

- 他者・自分の将来的な展望を持たない

4. 考察

■ 知見

- 共感性の欠如によるアウトカム（リスク行動）は、他の特徴（各Dark Triad特有側面）によって異なる可能性
- サイコパシーとマキャベリアニズムはリスク行動の観点から弁別できる可能性

■ 限界点

- 共感性を直接測定していない
 - 認知的共感性と感情的共感性による違いはあるか？
- アウトカムが異なる要因となる具体的な交互作用変数が設定されていない

まとめ

- マキャベリアニズムは社会的リスク行動とのみ関連する
- サイコパシーは個人的・社会的リスク行動の両方と関連する
- ご意見などございましたら喜入 (s.kiire0518@gmail.com) までご連絡ください。
- 研究にご協力いただいた松本昇先生，吉田恵理先生，神野雄先生にこの場をお借りして御礼申し上げます。

- 記述統計と性差 (N = 207)

	female	sd	male	sd	t (Welch)	d
age	20.11	1.50	20.92	0.64	-4.76	-0.57***
M	3.26	0.57	3.70	0.52	-3.84	-0.77***
N	2.19	0.56	2.19	0.71	0.00	0.00
PS	2.49	0.50	2.62	0.51	-1.16	-0.25
Prisk	1.18	0.36	1.53	0.64	-2.60	-0.84*
Srisk	2.04	0.56	2.05	0.59	-0.15	-0.03